

厳冬の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故につきましましては、原子炉が冷温停止状態に近づきつつあるとはいえ、原子力災害自体がまだ収束をみせない中、本市から避難している市民のために手厚いご支援を賜りますこと、厚く感謝申し上げます。

いま、本市では復興計画を策定し、原子力災害を含めた今回の大災害から立ち直り、復興へ歩み出そうとしております。

復興の大きな柱として、本市では本格的な除染を現在すすめております。困難で長い道のりではありますが、一日でも早く空間放射線量の低減を図り、市民が安全に暮らすことができ、また、避難者が安心して戻ることができる生活環境を取り戻そうと取り組んでいるところでございます。

このようなか、放射線への感受性が高い乳幼児を抱えた世帯など、多くの本市民が市外へ避難したまま十カ月が過ぎまたところでございます。この間、市長様はじめ市民の皆様のご厚意には強く励まされるものであり、避難市民も安心して日々の生活を送っておりますものと確信しております。

本市では、避難市民に対して、市政だよりを送るなどの情報を発信しているところです。今後は、市政だより送付を継続するとともに、何らかの新たな取組みをすすめてゆきたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、松山市長様をはじめ、市民の皆様のご支援に対し、改めて深く感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心から申し上げます、御礼に代えさせていただきます。

平成二十四年一月二十三日

松山市長 様

福島市長 瀬戸孝則